

甘い誘惑負けません！

夏井中で薬物乱用防止の講話

八戸税関支署(斉藤典彦支署長)は6月4日、夏井中学校(佐藤順校長・生徒78人)で薬物乱用防止の講話を行いました。



真剣な表情で講話に耳を傾ける生徒

講師を務めた同支署の木村柳太郎統括監視官は、薬物の取り締まりや摘発の状況を説明しながら「一度、薬物をやると心身が壊れ、もう元には戻れない。誘惑に負けず自分の個性を磨いて」と訴えました。講話後には生徒代表の中田陽和さん(3年)が「甘い誘惑に負けず、薬物には絶対に手を出しません」と決意を。他の生徒も真剣な表情で薬物の誘惑に打ち勝つことを誓っていました。

講話後には生徒代表の中田陽和さん(3年)が「甘い誘惑に負けず、薬物には絶対に手を出しません」と決意を。他の生徒も真剣な表情で薬物の誘惑に打ち勝つことを誓っていました。



野菜や日用品も並んだフリーマーケット



きれいなツツジもお客さんをお出迎え



闘牛大会の効果もあって大盛況！出店者の皆さんも大忙しです



「ヤー！」ビシッとポーズが決まって笑顔。くじ夢の会は勢いあるヨサコイで会場を盛り上げました。右下・観客からも拍手！

催し多彩で大にぎわい

つつじまつりに2万4,000人

自然の中で郷土料理や芸能を楽しめる平庭高原つつじまつり(同実行委員会主催)は6月13日と14日の2日間、久慈平庭県立自然公園で開かれました。闘牛大会の効果もあって約2万4,000人が来場。春の平庭が大いににぎわいました。

メイン会場の平庭中継基地には豆腐田楽やまめぶなどの出店がずらり。14日には本市と葛巻町の5団体による郷土芸能大会も行われました。このほか恒例の俳句大会や森のこだま館(葛巻町)の1周年記念祭も開催。多彩な催しで大勢の観客を楽しませました。

家族4人で訪れた田村透さん(小久慈町)は「催しも多くてとてもにぎやか。市外からも多くの人に来てくれてうれしい。自然や食文化など地元の良さを改めて感じる」と笑顔で話していました。

まちの話題をおすそ分け 広報リポーターの突撃取材！

津波避難訓練で 防災意識を高揚



金比羅神社に避難する久慈湊地区の住民

明治三陸地震津波が起きた6月15日、防災機関と地域住民が一体となって津波避難訓練が行われました。参加した1,260人は互いに助け合って高台などに避難。津波の記憶の風化を防ぎ、防災意識の高揚を図りました。(生平隆リポーター)

3世代の交流行事 虫まつりで豊作祈る



わら人形作りなど準備作業も3世代で

6月7日、枝成沢虫まつりを開催。地域住民が笛や太鼓のお囃子に合わせて町内を練り歩き五穀豊穡と無病息災を祈りました。枝成沢町内会の谷地秀人会長は「今後も地域交流の場を大切にしたい」と話していました。(小倉利之リポーター)

花で環境気持ちよく

東北電力がべっぴんの湯で植栽



べっぴんの湯の入り口付近にきれいに植栽

東北電力(株)久慈営業所(残間健志所長)は5月20日、地域交流と環境保全活動の一環として、べっぴんの湯で花苗の植栽を行いました。

同所のほか地域住民やユアテック久慈営業所、東北電気保安協会久慈事業所の社員ら18人が参加。参加者は会話も楽しみながら、サルビアやペゴニアなど300株を丁寧に植えました。色とりどりの花が植えられて、べっぴんの湯が華やかに。残間所長は「花のある環境で、多くの人に気持ちよく過ごしてほしい」とすがすがしい表情を浮かべていました。

同所の植栽活動は今回で5回目。久慈管内の市町村を対象に毎年行っています。

きれいな平庭見てほしい

老人クラブと山形中が景観保全

6月2日、山形地区老人クラブ連合会(戸崎武文会長)は平庭高原の延寿の森で刈り払いなどを行いました。全10地区から参加した20人の会員は、訪れる人にきれいな平庭を見せようとして、せっせと作業。観光シーズンを前に、みんなで汗を流しました。

5月29日には山形中学校(田口秀一校長・生徒64人)が山形町内で清掃活動。そのうち1年生は平庭高原を担当し、駐車場や道路沿い、トイレなどをきれいに清掃しました。袋いっぱいのごみを拾った室澤尚希くん(同中1年)は「きれいになって良かったけど、ごみを捨てる人が多いことを実感。もうごみは捨てないで」と、きれいな平庭のために呼び掛けていました。



きれいな平庭を見せようとして汗を流す会員。左下・「こんなに拾ったよ！」とごみ袋を掲げる山形中1年生

花で感じて思いやり

久慈湊小で人権の花運動



みんなでワイワイ。協力して花苗を植える児童ら

花を育てることにより命や思いやりの大切さを感じてもらおうと人権の花運動は6月18日、久慈湊小学校(村上悦夫校長・児童247人)で行われました。

はじめに人権擁護委員を代表して大橋栄太郎委員が「みんなで協力して花を大切に。自分の心も花と同じように育ててほしい」とあいさつ。委員と同小3年生38人はマリーゴールドなどの花苗をプランターにきれいに植えました。高橋迅くん(同小3年)は「気持ちを入れて植えた。花の世話もみんなでやります」と元気に話していました。

同運動は初めての試み。10月には修了式とあわせて人権教室も同校で開催する予定です。